

桐光会へのお礼メッセージ(2019年度春学期)

#1

この度は、桐光会応急支援奨学金を支給して下さい、誠にありがとうございます。昨年夏に父を亡くし、遠距離通学や学業優先の考えのもと、アルバイトも思うように出来ませんでした。今回採用して頂けたことで、家計の負担を少しでも軽減させることが出来ます。皆様に支えて頂いていることを励みに、これからも一つ一つの課題に真摯に取り組んでまいりたいと思います。本当にありがとうございました。

人間福祉学科奨学生本人

#2

今回は、桐光会応急支援奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございました。昨年は、急な父の死により、収入源がパートの母のみになってしまい残りの大学生活の授業料や高校生の弟を含めた家庭の今後が不安になっていました。しかし、今回採用して頂いたことで、母も私も安心することができました。1ヶ月の教育実習が終了し、9月までは教員採用試験に向けて全力で取り組み、その後は、卒業までに卒業研究を仕上げるのみとなりました。桐光会応急支援奨学金を支給して頂いたからこそ4年目の大学生活を送ることができているのだと常に忘れることなく、精一杯勉学等に励む所存です。この度は、誠にありがとうございました。

児童教育学科奨学生本人

#3

この度は、過分な支援金を頂戴し、恐縮いたしております。至らない点が多い私ですが、日々精進して参ります故、今後ともよろしく願いいたします。

経営学科奨学生本人

#4

この度は、修学支援奨学金の奨学生に採用して頂き、誠にありがとうございます。母子家庭で収入が少なく、経済的に厳しい状況の為、大変助かりました。これからも勉学に励んでいきたいと思っております。この度は本当にありがとうございました。

製菓学科奨学生本人

#5

この度は、桐光会修学支援奨学金の奨学生として採用して頂き、ありがとうございます。私の家は母子家庭で母親が定職に就くこともできず、家計が苦しい状態でした。その分、学費など自分の身の回りのことは、アルバイト代などで負担していましたが、それすらも難しくなってきたという状況の中、今回奨学生に選ばれたことにより、今年も安心して学校に通えることを嬉しく思います。私は現在英米語学科に通っており、英語はもちろん、ゆくゆくは中国語や母国語であるラオス語を習得したいと考えています。また、奨学生として採用されたからには、より一層勉学に励む所存です。与えられた機会を存分に生かし、目標に向けて頑張ってい

たいと思います。本当にありがとうございました。

英米語学科奨学生本人

#6

この度は、桐光会奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございます。私は、母子家庭で私も親の負担を減らそうと2つアルバイトをしています。今回、桐光会奨学金に採用して頂いたお陰で学業に一層専念することができ大変感謝しております。より、一層学業に励んでいきたいと思います。桐光会の皆様、この度は本当にありがとうございました。支援して頂いた御礼を忘れず、卒業まで今後も学業を努力し、検定取得をしていき、桐光会奨学生として学業に励みます。本当にありがとうございました。

中国語学科奨学生本人

#7

この度は、桐光会修学支援奨学金の奨学生として採用して頂き、誠にありがとうございます。このような形で学業の取り組みを評価していただき、この奨学金を受給できることを大変嬉しく思います。私は母子家庭で経済的に苦しい状態が続いており、さらに、私は就職活動が始まり、アルバイトを積極的に行うことが出来なくなり、学費の納入が困難な状況でした。今回、採用して頂いたことで、学生生活を送る上での不安が減った分、無事卒業できるようにより一層身を引き締め、頑張っていかなければと思っています。最後になりますが、採用して頂き、桐光会の皆様に深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

英米語学科奨学生本人

#8

この度は、桐光会修学支援金を給付していただき誠にありがとうございました。父が小学生の時に亡くなったため、私の家庭は母子家庭になり、収入が十分とはいえない状況でした。私もアルバイトをしていますが、奨学金全額を自力で返せる程の余裕はありませんでした。その中で今回の桐光会の奨学金は、私と母にとって非常に助かりました。現在、就職活動や卒業論文に力を注いでおります。これら目の前のやるべきことに専念できているのは、全て桐光会の皆様のおかげです。今後はより一層、私の大学生活が周りの皆様に支えられていることを忘れず、学業等に専念します。桐光会の皆様重ねて御礼申し上げます。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#9

この度は、桐光会の修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。採用していただいたおかげにより、学費のことを心配することなく勉強に励むことができるようになりました。幸いにも家業についても落ち着きを取り戻しつつあります。このことにより家庭への負担も多少は減りました。私自身も今までの不安もなくなり、実習に励むことができます。これからも目白大学の学生としての自覚を持ち、社会に出たときに恥ずかしくない人になれるように、残りの実習授業、就職活動を頑張ります。本当にありがとうございました。

子ども学科奨学生本人

#10

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用して頂き、誠に有難うございます。母の収入だけでは大学の学費、日々の生活費を賄うことには無理があり、私自身アルバイトをしながら通っている状況ですが、勉学との両立が難しい上、経済的にも厳しい状態が続いています。私の家庭は母子家庭なので、私と母の稼ぎと東京都から借りている奨学金で生活が形成されています。そのため、今回採用された奨学金はとても支えになりました。これからも勉学に励み頑張ります。桐光会の皆様にとっても感謝しています。本当に有難うございました。

中国語学科奨学生本人

#11

この度は、修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。とても少ない枠の中で採用していただきとても嬉しく感謝しております。母子家庭であることや留学に行っていたこともあり、学費の支払いが難しい状況にありましたが、ご支援によって無事支払うことができました。これからは、留学中の発見を生かし、就職に向けて準備をして行きたいと思っております。こうして支えてくださった皆様へのご恩と感謝を忘れず、悔いの残らないよう目白大学での生活を楽しみ、学業にも取り組みたいと思います。この度は本当にありがとうございました。

韓国語学科奨学生本人

#12

この度は、桐光会修学支援奨学金の奨学生として採用して頂き誠にありがとうございます。私の家庭は、母子家庭で父からの養育費が止まってしまい経済的に困難な状況でした。また、私には妹がいます。妹も将来のために大学への進学を希望していました。そんなときにこの桐光会修学支援奨学金の制度があることを知りました。私の学費を払うことで妹の大学への進学の手助けになってしまおうと感じていましたが、このような形で奨学生として採用していただき不安が軽減しました。これからもより一層学業に専念していきたいと思います。この度は本当にありがとうございました。

子ども学科奨学生本人

#13

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用して頂きまして誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭で、弟が現在本学の2年生ということもあり、学費の支払いがとても困難な状況です。そんな中採用して頂き、私も母も負担軽減に繋がりました。現在私は4年生で、勉学・就職活動・卒業研究に勤しんでおります。採用して頂いたおかげで、これらの活動に集中することができます。今回は本当にありがとうございました。

メディア表現学科奨学生本人

#14

この度は、桐光会奨学金における修学支援奨学金の採用を頂き、誠にありがとうございます。両親は個人経営で飲食店を営んでおり、安定した収入とはかけ離れた生活を余儀なくされています。私自身、大学に通い学ぶことは社会人になるうえで非常に意義のある4年間だと考えています。しかし、両親の収入に加え、日本学生支援機構奨学金のみで学費を賄うことは非常に困難な状況であり、私自身アルバイトをしておりましたが、学業や就職活動のため積極的に行えませんでした。そこで今回、このような形で奨学金を給付させていただく

ことになり、私の家族にとって大きな支えとなりました。大学生活も残すところ約10ヶ月となりましたが、今まで以上に学業に専念し、卒業後も社会人として躍進できるよう努めたいと考えております。最後になります。教育後援桐光会の皆様に心より感謝申し上げます。有難うございました。

経営学科奨学生本人

#15

この度、桐光会の修学支援奨学金を採用していただき誠にありがとうございます。大学生活に不安を感じることなく、より一層勉学に励むことが出来ます。私は小学校の教師を目指しており、日々奮闘しています。とても有意義な実り多い大学生活を過ごすことができ、自分の夢に一步づつ近づいていると確信しています。これからも勉学に励み、友人と切磋琢磨して自身の技術向上を目指し、修学支援金を受けたものとして恥ずかしくないように精進してまいります。

児童教育学科奨学生本人

#16

この度は、桐光会奨学金学生に採用していただき、誠にありがとうございます。自分の将来の夢を叶えるために子ども学科に入学し、他の奨学金とアルバイトの収入で学費を納めていましたが、それだけでは補うことができなくなってしまい、今回申請を行いました。採用の通知をいただき、学べることの嬉しさを改めて感じています。今後より一層保育についての学びを深めるために勉強に励んでいきます。採用してくださった桐光会の皆様、そしてお力添えいただいた職員の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

子ども学科奨学生本人

#17

この度は、桐光会修学支援奨学金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。私は母子家庭で、学費を納めるのが困難な経済状況な上、母が体調を崩してしまい家庭内の状況も混乱しておりました。そして私も4年生になり、就職活動に卒業論文とアルバイトを十分に出来る状況ではないため、このような機会を頂き、誠にありがたく思っております。数ある応募のなか、採用していただいたことを桐光会の皆様に感謝し、残りの学生生活を悔いなく過ごそうと思っております。この度は本当にありがとうございました。

韓国語学科奨学生本人

#18

この度は、奨学金のご支援をいただけることになりまして、心より感謝いたしております。母子家庭で、母の給料だけでは金銭的にも苦しい状況でした。そのとき、奨学生になることができ授業料を確実に納めることができました。おかげさまで、学業に専念することができてとても嬉しく思います。

メディア表現学科奨学生本人

#19

この度は、桐光会奨学生に採用して頂き、本当にありがとうございます。去年の夏に父が体調を崩し、仕事ができない期間がありました。そのため貯金から生活費に充てていました。入学当初から学費は全て自分のアルバイト代と奨学金、貯金から出していたため、父が体調を崩してしまったことにより貯金がなくなっ

い、学費が出せないところでした。そのようなときに桐光会の奨学生に採用して頂き、ご支援をしてくださいました。これからは現在学んでいる児童教育学をより一層励み、自分の夢を叶えたいと思います。申請に対応して下さった学生課の職員の皆様、そして桐光会の皆様に心から感謝いたします。

児童教育学科奨学生本人

#20

この度は、桐光会修学支援奨学金の奨学生として採用していただき、心から感謝いたします。自分の将来への道を拓くためにこの学校を選び実家を出ました。母子家庭という大きな負担に加えて、生活費また高校二年生の弟の学費等で家庭が経済的に非常に厳しい状況であり、今までも、この先の学生生活においても不安を抱えておりました。こうしてご支援いただけてより一層充実した学生生活を送ることができます。勉学はもちろん、サークル活動、アルバイトとすべての活動において、積極的に有意義なものにしていこうと改めて身の引き締まる思いです。最後になりますが、相談にのって頂いた事務員の皆様、桐光会の皆様に厚く御礼申し上げます。

メディア学科奨学生本人

#21

この度は、桐光会奨学生に採用していただきありがとうございます。私の家庭は母子家庭なのですが、父からの養育費の支払いがないため、奨学金や母親の貯蓄、私のアルバイト代で学費を賄っていました。高校に通う妹がいることや私自身も行事の準備や実習等で、学業が忙しくなりアルバイトに行けなくなることから学納金を納めることが困難な状況となりましたが、今回桐光会奨学生に採用していただいたことにより、無事学納金を納めることができました。これからは、学業に専念することはもちろんのこと、メジスタとして大学に貢献していけたらと考えています。桐光会の皆様、学生課の皆様に心から感謝いたします。ありがとうございます。

子ども学科奨学生本人

#22

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用して頂きまして、誠にありがとうございます。私は、母子家庭で経済的に困難であったため、学費を自分のバイト給与と日本学生支援機構の奨学金から出していました。学年があがり、課題が増え実習も始まったことで、学業とバイトとの両立が難しくなってしまったためとても不安を感じていました。しかし、この奨学金に採用して頂いたおかげで、学業に取り組む時間を得ることができ、不安が軽減されました。自分の夢を実現できるよう、これからも学業に励んでいこうと思います。

児童教育学科奨学生本人

#23

桐光会の皆様、この度は私を桐光会奨学金の奨学生として採用して下さりありがとうございます。大変感謝しております。特に私が所属している英米語学科では留学もあるため、4年間の学費以外にもその費用が大きな負担となっております。今回の採用は、そんな私の家計の負担を少しでも減らしてくれるものです。私には障がいがあるため、身体の状態を考えると今の私にできることは語学を身につけることではないかと思っています。そしてこれからは英語だけではなく、もう1ヶ国語できるように勉強をしていきたいと考えています。将来はその身につけた語学力を活かせる職に就き、1人で家計を支えている母の経済的負担を減らしたいです。

今回の採用、誠にありがとうございました。

英米語学科奨学生本人

#24

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭で、母親は病気のため就業が困難な状況であり、経済的にとても困窮しています。現在、3つの奨学金を借り、すべての学費を賄っていましたが、大学卒業後の他学の返済のことを考えると、不安な気持ちでいっぱいでした。そして、自分の生活に必要なお金はアルバイト代で支払っていましたが、奨学金返済のための貯金もできない状態でした。今回、奨学生に採用していただいたおかげで、将来への不安や生活の苦しさを減らすことができました。これから、国家試験2資格合格へ向けて、今まで以上に勉学に励み、将来社会に貢献することができるよう努力して参ります。今回、選考して下さった桐光会の皆様に深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

人間福祉学科奨学生本人

#25

この度は、桐光会奨学生に採用していただきまして、誠にありがとうございました。母子家庭であり、今年の春から弟が大学に入学したため、母の収入と私のアルバイトの収入では非常に苦しい状況でした。今回、給付していただいたおかげで、安心して学業に専念することができております。桐光会からの支援へ感謝を忘れず、今後とも学業と将来に向けて、目白大学での大学生活を充実させるべく、より一層精進してまいりたいとおもっております。この度、支えて下さった桐光会の皆様、そして支援業務に携わって下さった全ての皆様に、心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#26

この度、桐光会「修学支援奨学金」のご支援をいただけることになりまして感謝しております。私は今、大学で心理学の基礎を学んでおり、資格取得のために毎日勉強しています。可能でしたら、大学院に進学して、研究をしていきたいと考えております。温かいご支援をいただいたおかげで、勉学に専念させていただくことができ、ありがたい限りです。この度のご支援、本当にありがとうございます。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#27

この度は桐光会応急支援奨学金に採用していただき、ありがとうございました。私は現在大学4年生であり、残りの学生生活を過ごせるのは、桐光会の皆様、ならびに学生課の職員の方々のおかげです。母の持病悪化や父の収入低下により、学納金を支払うのが難しく、このように奨学生として採用していただけることに心より感謝いたします。今後、卒業に向け精一杯取り組んでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。現在は就職活動をしているので、将来、人を手助けできるような、社会で役に立つような人間になっていきたいと思っております。最後に桐光会の皆様、親身に対応して下さった学生課の皆様に心から御礼申し上げます。

経営学科奨学生本人

#28

この度は桐光会修学支援奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございました。私の家庭は母子世帯の為、母親の収入で学費を賅っています。自分自身もアルバイトを行っていますが、通学に時間がかかることや、学業に専念したいため、積極的には行うことができません。今回の修学支援金に採用して頂いたことにより、経済面だけでなく、気持ち的にも不安を軽くすることができました。「桐光会」の皆様に応援して頂いていることを念頭に置き、これからも益々学業に励みたいと思います。本当にありがとうございました。

理学療法学科 奨学生本人

#29

この度は、桐光会支援奨学金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。私は病気で苦しむ患者さんに親身に寄り添える言語聴覚士になれるよう勉学に励んでおります。しかし、父の仕事が自営であり、受注状況が一定ではないことから収入には波がありました。そのため、入学時より奨学金を借りておりましたが、依然として経済状況が厳しく、この度の桐光会支援奨学金を申請させていただきました。今回、奨学生に採用されたことで、家族の大きな支えとなり、私自身の学習に対する意識もさらに高まりました。ご支援いただいた皆様への感謝の気持ちを忘れず、勉学により一層励み、社会に貢献できる人間を目指してまいります。最後になりますが、ご支援いただいた皆様に重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

言語聴覚学科 奨学生本人

#30

この度は、桐光会修学支援奨学金の給付、誠にありがとうございます。自宅が自営業で収入が安定しておらず、母の病気の治療費や妹、弟の学費など、日々苦しい状況でした。私自身アルバイトをして生活費を賅っておりましたが、学業との両立は難しいものでした。桐光会修学支援奨学金に採用していただいたことで、学業に専念することができます。支援していただいていることを忘れず、日々精進してまいります。本当にありがとうございました。

言語聴覚学科 奨学生本人